

# 一般建築WG(WG3)の 検討経過概要の報告

## WG3メンバー

関澤 愛 (東京理科大学)  
志田 弘二 (名古屋市立大学)  
萩原 一郎 (建築研究所)  
林 広明 (大成建設): 幹事  
北後 明彦 (神戸大学)  
村井 裕樹 (広島工業大学)  
吉村 英祐 (大阪工業大学): 主査

日本建築学会・社会ニーズ対応推進委員会  
避難安全のバリアフリーデザイン特別調査委員会  
公開委員会

2013.4.3(水) 14:00-17:15

## ■一般建築WG(WG3)の設置目的

バリアフリー法の施行により、不特定多数に利用が開かれた施設においても、自力避難が困難な人がいることを前提にした避難安全計画が求められるようになった。

一般建築WGでは、他のWGが扱わない、不特定多数が利用する**商業施設**、**娯楽施設**、**集会施設**、**宿泊施設**等を対象とした避難安全計画を検討する。

### 1. 複雑かつ多岐にわたる課題を単純化して検討するため、大規模物販店舗にしぼって検討を進める

#### 【理由】

大規模物販店舗は

- ①もともと買い物の便利さを考えてバリアフリー化が進んでいる
- ②早くから旧ハートビル法の適用対象となっている

### 2. 大規模物販店舗の利用者の実態調査(時間帯別、階別、属性別など)を行う必要がある

→ 既往の調査結果の入手・利用も検討する

各社・各店へのヒアリング、避難誘導マニュアル入手

### 3. 避難のバリアフリーの視点からみて、すぐれていると思われる、大規模物販店舗の防災計画事例を、収集・分析する